

【学校研究に係る研修会】

石川支援学校 研修部

◇研究テーマ

今年度のテーマは、「知的障がいのある児童生徒における各教科や各教科等を合わせた指導の充実を目指して－新学習指導要領を踏まえ、自立と社会参加に向けて児童生徒が何を学び何が身に付いたのかが明確になる授業づくり－（2年次）」です。

※令和2年12月11日（金）、外部から約30名の参加者を迎え、学校研究に係る研修会を実施しました。コロナウイルスの状況を踏まえ、講師の中西先生にはリモートによる指導助言と講演をいただきました。

◇午前の部

<研究授業一覧>

研究グループ	単元・題材名
小学部	算数：「いくつといくつ」「なんばんめ」
中学部	国語：「おはなしすごろくをしよう」
高等部A	生活単元学習（職業・国語）：「わたしのよさ、きみのよさ～働くために～」
高等部B	生活単元学習（理科・国語・家庭）：「野菜を育てよう～紫キャベツを食べよう～」



◇午後の部

<協議（事後研究会）>

各研究グループにわかれ「新学習指導要領を踏まえた授業作り」についての協議を行いました。短い時間での協議でしたが、ポイントを絞ることにより発言しやすく、考えを深められる良い協議となりました。

<講演会>

講師：十文字学園女子大学 教授 中西 郁 氏

演題：教科別の指導や「各教科を合わせた指導」における主体的・対話的で深い学びとなる指導

本校の実践を事例として取り上げながら、主体的・対話的で深い学びを促す手立てについてご講演いただきました。知的障がい教育における主体的・対話的で深い学びに向けての授業改善のポイントを具体的にお話いただきました。また、自立活動の指導の充実のために、自立活動の指導の位置付けについても分かりやすく説明していただきました。



感染拡大防止のため、外部参加者の方には授業を児童生徒とは別教室においてビデオ中継で参観いただきました。アンケートではオンラインの授業参観は、「子供たちの様子を近くで見ることができたのでとても良かった」「（子供たちにとって）囲まれて見られるより良かったのではないか」などのご意見をいただきました。充実した研修会となりました。